

# 同性婚をめぐって

# 司法と

# 法学の展開

世界の各国において、「同性婚」の制度が広がっていますが、その過程で裁判所の判断が重要な役割をはたしています。「憲法は同性婚の権利を保障するのか」。裁判所の判断は、「正義・平等」というモラルの問題だけではなく、それぞれの国の「法」の論理によって大きく左右されます。このシンポジウムでは、同性婚が実現した台湾・アメリカ・カナダの例を参照しつつ、日本における展開を考察します。

## 報告者

湯 徳宗 Dennis T. C. Tang  
(台湾・東呉大学・教授、元 司法院大法官)

白水 隆 (千葉大学・准教授)

綱森史泰 (札幌弁護士会)

使用言語 日本語および中国語 (通訳あり)

## コメンテーター

鈴木 賢 (明治大学・教授)

佐々木 雅寿 (北海道大学・教授)

## 通訳・コメンテーター

徐 行 (北海道大学・准教授)

## 司会・コメンテーター

辻 康夫 (北海道大学・教授)

2019年 12月14日(土) 14:00~17:00  
北海道大学 文系共同講義棟 (軍艦講堂)

8番教室

主催：北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター

共催：北海道大学公共政策大学院

科研費プロジェクト 基盤(B)「多文化主義政策はいかにして受容されるか」

後援：北海道大学大学院文学研究院 応用倫理・応用哲学研究教育センター

